

アンドパッド

建設DXプラットフォームを公開

12社のサービスと連携



アンドパッド（東京都千代田区、稲田武夫社長）は、外部サービスとの連携を強化し、建設業界全体のデジタル化を推進する建設DXプラットフォーム「ANDPAD アプリマーケット」を公

開した。第1弾として、連携サービスのパートナー12社を公表した。ANDPADアプリマーケットとは、ANDPAD APIの提供を通じて、業務のデジタル化を進め効率化を図りたい住

宅会社と、DXに貢献するITサービスを提供する企業や開発者をつなげる、建設DXプラットフォーム（特許出願中）だ。建設業界においてもさまざまなITサービスの



▲第1弾として、顧客管理ソリューションのSalesforceやリフォーム会社紹介サイトのホームプロなどの連携サービスを公表

導入が進む中、それぞれの部門で異なるITサービスを導入することが多く、部門間やサービス間のデータ連携が難しい現状がある。この課題が会社全体、延いては業界全体のデジタルシフト、業務効率化の妨げになっているケースもある。

そこで、同アプリマーケットを通じてデータ連携を可能にすることで、これらの課題を解決していく。合わせてANDPAD APIの提供も開始。これを通じて、同社サービス連携が容易になる。